



令和4年3月9日

教員養成フラッグシップ大学の指定について

教員養成フラッグシップ大学の指定を行いましたので、お知らせします。

1. 教員養成フラッグシップ大学の概要

文部科学省では、「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成を先導し、教員養成の在り方自体を変革していくための牽引（けんいん）役としての役割を果たす大学について、その申請に基づき、文部科学大臣が教員養成フラッグシップ大学として指定する仕組みを創設しました。

教員養成フラッグシップ大学に指定された大学は、教育職員免許法施行規則等に定める一部の科目に代えて新たな科目を開設し、免許を取得することができる特例措置が適用されます。この制度を活用し、優れた研究・人材育成拠点として全国的な教員養成の高度化に貢献することが求められます。

指定大学には、新たな社会の到来を見据え、教育現場や教育行政、NPO や企業、関連分野の学問研究において優れた業績や実績を有する他大学や研究機関等と緊密に連携しつつ、新しいプログラムを研究・開発するなどの先導的・革新的な取組を行うとともに、取組から得られた知見を他の教員養成大学や教職課程を有する大学に展開し、我が国の教員養成の在り方を変革していく牽引役となることを期待します。

2. 公募と申請状況

教員養成フラッグシップ大学の指定に関する公募は、令和3年8月6日から令和3年11月12日まで行い、15大学から申請がありました。※1件は2大学からの共同申請（別紙1）

3. 審査体制及び経過

指定に向けた審査は、中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会（以下「教員養成部会」）のもとに設置された、有識者からなる委員会（「教員養成フラッグシップ大学推進委員会」（以下「推進委員会」））（別紙2）による書面審査及びヒアリング審査によって行いました。

令和3年7月30日	第1回推進委員会（推進委員会運営要領・公募要領・審査要項）
11月17日～12月10日	推進委員会による書面審査
12月20日	第2回推進委員会（ヒアリング対象大学の選定）
令和4年1月18日・20日	推進委員会によるヒアリング審査
2月2日	第3回推進委員会（指定大学の選定、指定後のフォローアップ）
2月21日	中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会による審議

4. 教員養成フラッグシップ大学の指定

文部科学大臣は、推進委員会及び教員養成部会の審議結果を踏まえ、令和4年3月9日に東京学芸大

学、福井大学、大阪教育大学、兵庫教育大学を教員養成フラッグシップ大学として指定しました。

各大学の取組テーマ・概要及び推進委員会からの意見（別紙3）

各大学の構想の概要図（別紙4）

「教員養成フラッグシップ大学推進委員会」所見（別紙5）

参考：文部科学省ホームページ

教員養成フラッグシップ大学について：https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/mext_01646.html

<担当>

文部科学省総合教育政策局教育人材政策課

教員養成企画室長 小畑 康生（内線：3346）

室長補佐 小栗 孝明（内線：3764）

電話：03-5253-4111（代表）

メールアドレス：kyoin-y@mext.go.jp

<各大学担当>

東京学芸大学学長室 電話：042-329-7771

福井大学総合教職開発本部事務室 電話：0776-27-8997

大阪教育大学総務部経営戦略課 電話：072-978-3334

兵庫教育大学大学改革・広報室 電話：0795-44-2337

教員養成フラッグシップ大学 申請状況

(1) 申請大学数

設置者形態	申請大学数
国立	13(※)
公立	0
私立	2
合計	15

※うち1件は、2大学の共同申請

(2) 申請一覧

連番	大学	テーマ名称
1	北海道教育大学	「令和の日本型学校教育」に対応した“実践”と“理論”のスパイラル型教職コアカリキュラムの構築 -“探究的・省察的实践家”としての教員の養成-
2	東京学芸大学	先端教育人材育成推進機構を核として、教育者養成の在り方を持続的に探究する大学へ
3	上越教育大学	GIGAスクールに精通した教師力の高い教員の養成を目指して -ICT教育先進地域上越からの発信-
4	金沢大学・富山大学	リーダー教員養成ブリッジング・プロジェクトによる共同教育課程モデル
5	福井大学	「主体的・対話的で深い学び」を支える教師の実践力を培うために： 省察的実践の長期漸成サイクルをコアとする養成研修カリキュラムの実現と学校・教育委員会・地域 ・大学「専門職学習コミュニティ・DX多重協働ネットワーク」の構築
6	信州大学	臨床経験科目とGIGAとの連携に基づいた学部および教職大学院の一体的な教員養成カリキュラムの 構築 -総合大学における教員養成の高度化を目指して-
7	静岡大学	「教育ダイバーシティ」時代を担う教育力の育成 ～静大方式による教員養成の高度化～
8	愛知教育大学	愛知教育大学 教員養成フラッグシップ大学構想
9	大阪教育大学	ダイバーシティ大阪の諸課題に応え、学習者の学びに寄り添う教師の育成 -協働・省察を促し、教育DXの推進による先導的・革新的教員養成カリキュラム-
10	兵庫教育大学	自律した学習者を育てる教師の養成プログラム TEX (Teacher Education program for the Transformation) -アジャイル型手法を導入したカリキュラム開発-
11	愛媛大学	予測困難な社会に対応できる教員養成のための先導的・革新的プログラム
12	熊本大学	子ども中心の授業デザイン力・課題探求力を育成する教員養成改革プロジェクト
13	玉川大学	先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発
14	常葉大学	エンゲージメント力を備えた教員の育成

※金沢大学と富山大学は共同申請

初等中等教育分科会教員養成部会
教員養成フラッグシップ大学推進委員会委員

(50音順)

(臨時委員)

秋 田 喜代美 学習院大学文学部教授
高 橋 純 東京学芸大学教育学部准教授
若 江 眞 紀 株式会社キャリアリンク代表取締役

(専門委員)

北 神 正 行 国土舘大学体育学部教授
白 水 始 国立教育政策研究所初等中等教育研究部副部長、総括研究官
立 田 順 一 横浜市教育委員会南部授業改善支援センター授業改善支援員
山 口 宏 樹 一般社団法人国立大学協会専務理事

(7名)

各大学の取組テーマ・概要及び推進委員会からの審査意見

【東京学芸大学】

テーマ	先端教育人材育成推進機構を核として、教育者養成の在り方を持続的に探究する大学へ
概要	「令和の日本型学校教育」を担う教師に共通に必要な創造的な資質・能力を育成するため、「子供と教師が共に新たな社会を創造していく学校教育の実現」をテーマに、先導的プログラムの研究開発、成果の普及展開、教職課程に関する制度改善への提言を行う機能を「先端教育人材育成推進機構」を核として構築し、持続的に教育者養成の在り方を探究する。
審査意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員養成フラッグシップ大学として取り組む内容、組織、資金等、その具体化に向けた準備が組織的になされており、今後の取組の成果が期待できる。 ・ 先端教育人材育成推進機構のリエゾンチームの機能による「教育創成科目」の先進的開発手法（企業・産業界との連携）と教員養成課程カリキュラムの運用、全国展開を見据えた当初からの複数地域の教育委員会との連携といった先進性を有する内容が構想されており、これらの実施に係る学内ガバナンスも含めた提案がなされている点は評価できる。 ・ 産官学民連携等を通して学部生・院生・現職教員がプログラムの中で何をどう学び取っていくのかという学修プロセスのモデルと評価を明確化し、結果を基に各プログラムやカリキュラム全体の持続的改善を図っていくことが望まれる。

【福井大学】

テーマ	「主体的・対話的で深い学び」を支える教師の実践力を培うために： 省察的実践の長期漸成サイクルをコアとする養成研修カリキュラムの実現と学校・教育委員会・地域・大学「専門職学習コミュニティ・DX多重協働ネットワーク」の構築
概要	「変革を起こす力(コンピテンシー)」(OECD)を実現する省察的実践を通じた持続的な学習展開を支える教師の力量形成のために、教師及び教師をめざす学生自身が省察的な実践を長期的発展的に進め、実践研究を深めていくことのできるカリキュラムを学部・大学院、養成と生涯にわたる研修において有機的・総合的に構築するとともに、そうしたカリキュラム・イノベーションを多くの養成大学・研修支援の機構と連携して共有していくシステム開発を進める。
審査意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで築いてきた実践者のネットワーク（コミュニティ）を基盤として、参加者の省察性の一層の高まりと外部からのコミュニティへのアクセスのし易さの向上を目指して、学内の組織改革、省察性を高めるカリキュラム改革、実践者の長期的成長の記録等をリソースとして用いたDX化を行い、ポートフォリオ等による学習プロセスの評価で成果を明らかにしていこうとする基本的枠組みは、教員養成フラッグシップ大学の一つの実践的展開として評価できる。 ・ 複合的実践力を掲げた教師像は明確であり、省察的実践の長期漸成サイクルの重要性は理解できるものの、教員養成フラッグシップ大学としての取組とこれまでの実践との差異を明確にし、今後何を新たに構想し、実現するかをより具体化した上で、革新性をもって取り組むことが必要である。 ・ 他学部での教員養成への展開や、他学部が有するリソースを教員養成に生かすといった、総合大学の教育学部のモデルとなる取組を積極的に展開することが一層求められる。

各大学の取組テーマ・概要及び推進委員会からの審査意見

【大阪教育大学】

テ ー マ	ダイバーシティ大阪の諸課題に応え、学習者の学びに寄り添う教師の育成 -協働・省察を促し、教育 DX の推進による先導的・革新的教員養成カリキュラム-
概 要	大阪市との協働により設置する大阪アドバンス・ラーニング・センター（以下 OALeC という）を拠点として、ダイバーシティを尊重し、多様な児童生徒一人一人に寄り添うきめ細やかな指導力を備えうる実践力に力点を置いたカリキュラムを開発することで、単に知識を教えるのではなく、ファシリテーター的能力を有する教員を養成し、成果を全国に浸透させることにより、日本の教育課題が縮図化した大阪（ダイバーシティ大阪）から令和の日本型学校教育を牽引する。
審査意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「ダイバーシティ大阪」を踏まえた課題設定は適切で、「令和の日本型学校教育」の具現化につながるものであると言え、求められる人材像、人材育成目標やカリキュラムの全体像も具体的で明確である。また、OALeC を拠点とした学校教育高度化プロジェクトは革新的で、令和の日本型学校教員養成を先導する可能性が高いと評価できる。 ・民間企業や行政との連携体制が構築されており、取組を展開するための人的リソースについての展望がある点が評価できる。バーチャルスクールの教材開発を通して全国的に貢献することも期待できる。 ・カリキュラムの進行とともに、それを評価する持続的改善サイクルを構築することが望まれる。

【兵庫教育大学】

テ ー マ	自律した学習者を育てる教師の養成プログラム TEX (Teacher Education program for the Transformation) -アジャイル型手法を導入したカリキュラム開発-
概 要	兵庫教育大学には、教師教育のトップランナーとしての様々な取組の基盤がある。そして、兵庫教育大学は、教員養成の在り方自体を変革する役割を担う「教員養成フラッグシップ大学」として、「児童・生徒が自律した学習者として多様な人々と協働し、Society5.0 や SDGs を含めた個人・社会のウェルビーイングを実現できる次世代型の学びの創造に向けて、柔軟で高度な課題解決力を持った教師の養成」を構想する。
審査意見	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの実績に加え、教員養成フラッグシップ大学としての取組が明確に示されており、確実な成果が期待できる。また、サブ・テーマとして「アジャイル型手法を導入したカリキュラム開発」を掲げており、こうした手法によって不断の改善を図ろうとする姿勢が評価できる。 ・教員養成スタンダードを立て、それに対応して7テーマを広くカバーしているという領域の広さ、日本型 STEAM 教育、インクルーシブ教育、教育データサイエンスのいずれにおいても、具体的な独自性が高い内容が設定されている。またカリキュラム開発において、社会的インパクト評価のためのロジックモデルの構築に取り組むなど、構想を実現するための検討がしっかりとされている点が評価できる。 ・取組の評価に当たっては、直接支援・介入可能な成果（アウトプット・直接アウトカム）から、参加者（学生・院生・現職・大学教員）の変革がどう起きるか（中間・最終アウトカム）の支援と評価が重要であり、参加者のリフレクションが促されるための工夫が求められる。評価についても「観」の転換を目標とする場合、「やっていないつもりができていいる」といった受講生をすくい上げる取組も期待したい。



教育者養成の在り方を持続的に探究する大学へ

「令和の日本型学校教育」を担う教師の能力を身に付けるため、「子供と教師が共に新たな社会を創造していく学校教育の実現」をテーマに、先導的プログラムを開発し、成果の展開、教職課程に関する制度改善への提言を行う機能を先端教育人材育成推進機構を核として構築し、持続的に教育者養成の在り方を探究する。

令和の日本型学校教育を担う教師に求められる能力と先導的プログラム

変化が激しく予測困難な時代へ対応できる力と新たな価値を創造することができる力を子供に育成することができる教師

子供に身に付けさせる能力

- ・「探究力、創造力、他者・社会と協働できる力」を育成する力
- ①教科横断学習（STEAM含む）実践力
- ②アクティブラーニング実践力
- ・③子供が置かれている多様な環境への対応力

教師自身が身に付ける能力

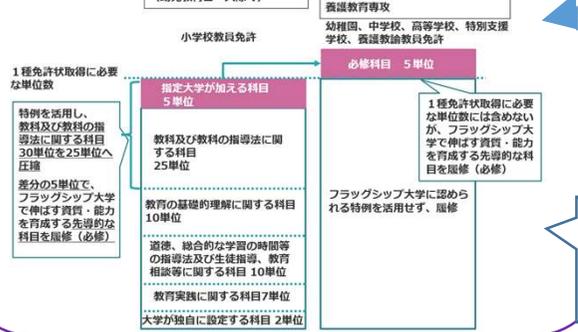
- ・④学び続けるために、自己をマネジメントする力
- ・⑤学校教育のより良い変革に資する基盤となる探究力、創造力
- ・⑥学校内での協働・社会との協働をマネジメントする力

フラッグシップ特例科目（必修5単位）

- ①「社会に開かれた探究と創造の学びのデザイン」
- ②「学びを支えるファシリテーションの技法」
- ③⑥「チーム学校と多職種協働」
- ④「教師のレジリエンスと自己管理能力の育成」
- ⑤「教育のためのデータサイエンス」

フラッグシップ特例の活用（令和5年度）

令和5年度から小学校免許を取得する専攻に活用、令和7年度から幼稚園、中学校、高校、特別支援学校免許を取得する専攻への拡大を目指す



先端教育人材育成推進機構を核として、政策提言を行うフラッグシップ大学の体制を整備

先導的プログラムの研究開発と成果の展開・検証を可能とする循環システムを構築

先端教育人材育成推進機構

機構長は副学長から学長が指名し、学長のリーダーシップとガバナンスを発揮 学内教員、附属学校教員、外部機関（他大学・教委等）から約70名参加



実績 日本教育大学協会事務局、教員養成高度化のための大学間連携協議会を主催

統括 本部員・各ユニット代表者・ステークホルダーで構成

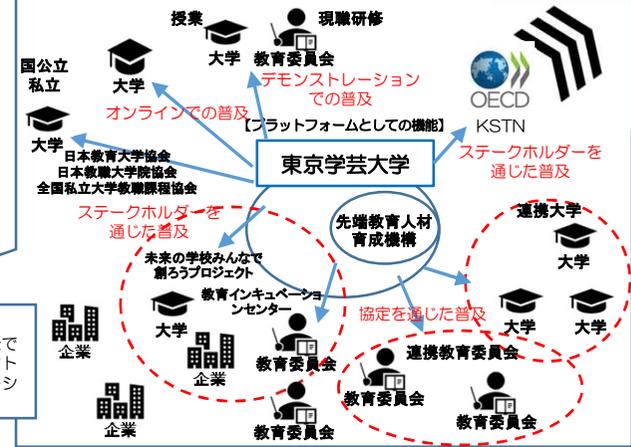
各ユニット 教育委員会・学校

- 教職専門性基準開発ユニット（特例活用・先導プログラム開発）
- 教育・学習デザイン開発ユニット
- 外国人児童生徒教育推進ユニット
- 高校教育開発推進ユニット
- データ駆動型教育創成ユニット
- 教師教育高度化ユニット
- 教員研修プラットフォーム開発ユニット
- 次世代組織マシナリ研究開発ユニット

課題把握・研究実施段階からステークホルダー（他大学・教育委員会・民間等）が参加することで、成果の活用・普及を見据えて実施（循環システム）

- 実績 日本における次世代対応型教育モデルの研究開発（H27～）
- 実績 外国語（英語）コアカリキュラム（H29）
- 実績 教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業（H29～R1）

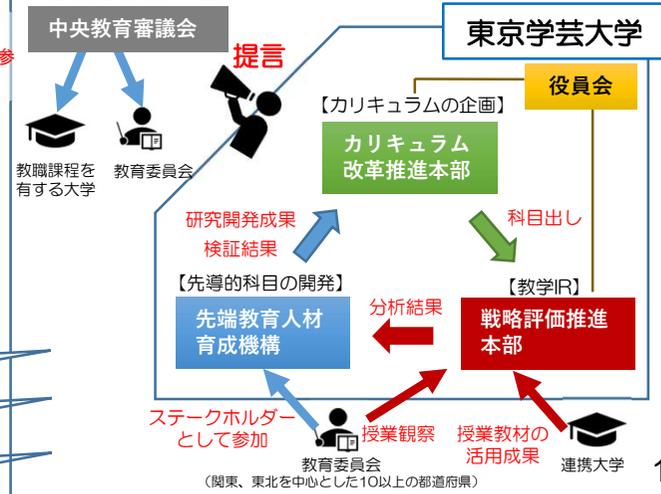
全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開イメージ



取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

教員養成制度の変革に関する提言

- ◆教職課程コアカリキュラムの改訂への提言
- ◆教育職員免許法や課程認定基準の改訂への提言 等

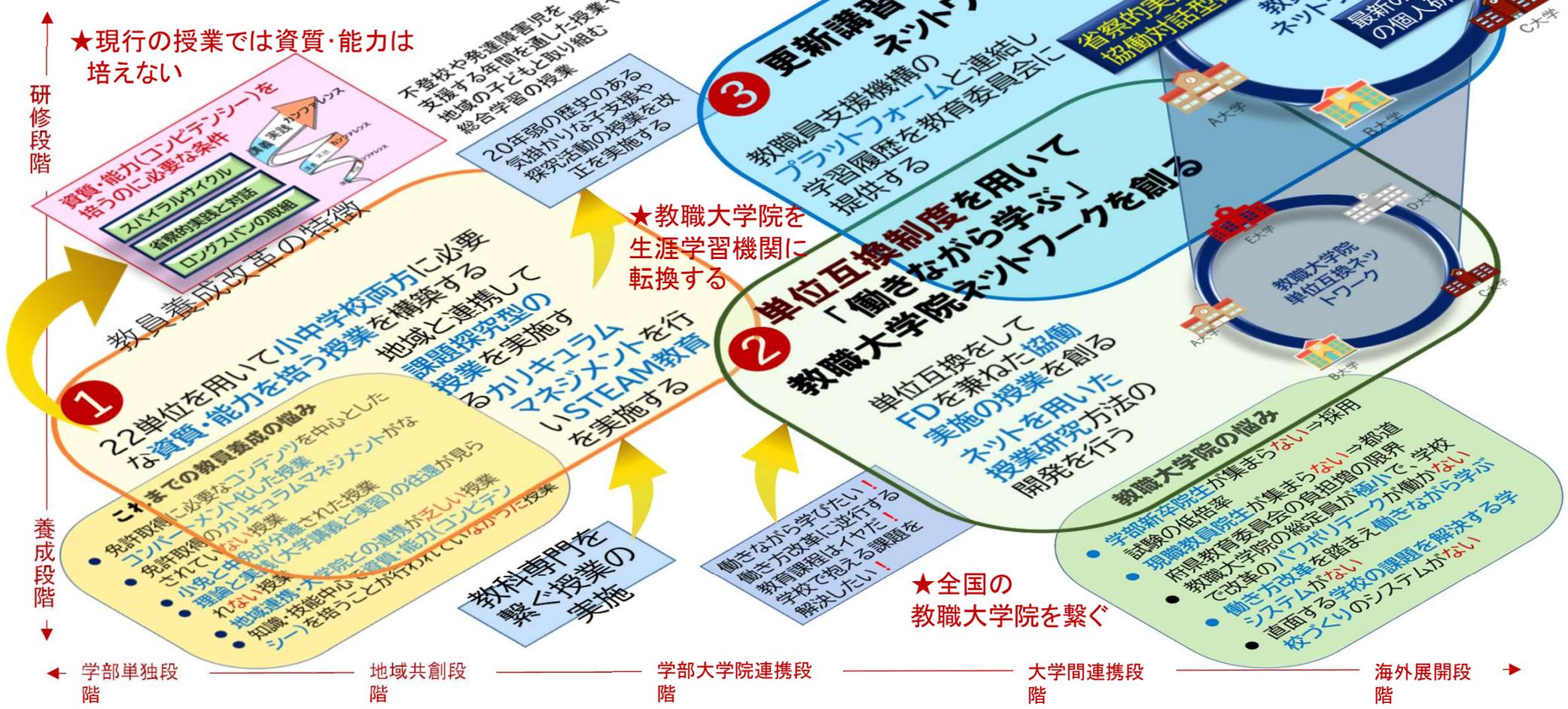


（関東、東北を中心とした10以上の都道府県）

福井大学

「主体的・対話的で深い学び」を支える教師の実践力を培うために：

省察的実践の長期漸成サイクルをコアとする養成研修カリキュラムの実現と学校・教育委員会・地域・大学「専門職学習コミュニティ・DX多重協働ネットワーク」の構築



大阪教育大学

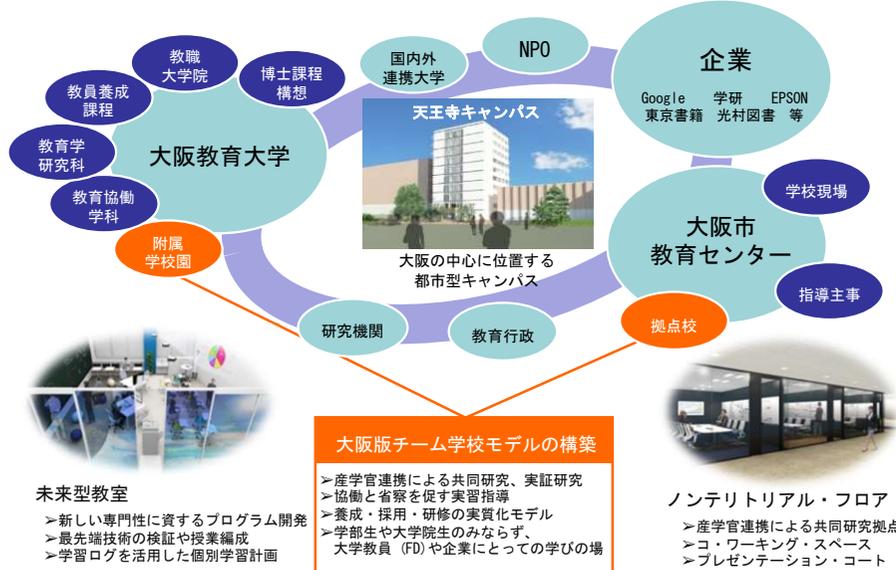
大阪教育大学 教員養成フラッグシップ大学構想

ダイバーシティ大阪の諸課題に応え、学習者の学びに寄り添う教師の育成
 一協働・省察を促し、教育DXの推進による先導的・革新的教員養成カリキュラム

大阪アドバンスト・ラーニング・センター(OALeC) の設置

全国に類を見ない
日本初の計画

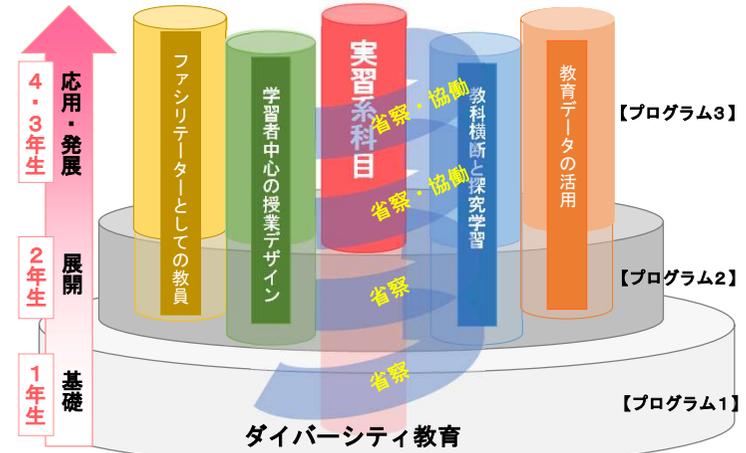
日本の将来を見据え、学校教育に求められる変革に、教育委員会・学校現場・行政・産業界・大学等が、それぞれ抱える課題（弱み）や資源（強み）を一堂に集積し、大きな成果を生み出す共創環境



先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発

学部におけるダイバーシティ教育をベースとしたカリキュラム開発

ダイバーシティ教育をベースとした、4つのテーマ領域と省察科目で構成される先導的・革新的な教員養成カリキュラムの開発



OALeCを活用した教職実践教材「バーチャルスクール」等の開発

OALeCに参画する地元教育委員会、企業との共同により、クラウド上でバーチャルな学校を体験・経験できる教職実践教材「バーチャルスクール」を開発

教職大学院共通5領域必要単位数の弾力措置の活用

【新たな領域】ダイバーシティ理解、多職種協働による組織マネジメント、教育DX・STEAM実践、教育グローバル人材育成（2単位）

教育学部と連合教職大学院の一体的カリキュラム開発

- ✓ 教育実践コースに「6年一貫教員養成プログラム」を導入
 - ✓ 養成・採用・研修を貫く「附属学校教員養成コース（仮称）」を設置
- ⇒ 地元教育委員会との連携による養成・採用を接続したコースに展開

教員育成指標と連動した教員研修プログラム開発

連合教職大学院の授業科目群と統合した仕組を構築

新たな形の大学教員FDを提案

- ✓ 学生の学び合いをファシリテーションする力量を形成するFD
- ✓ 座学を中心とする知識伝達型から、実践経験型のFDへ

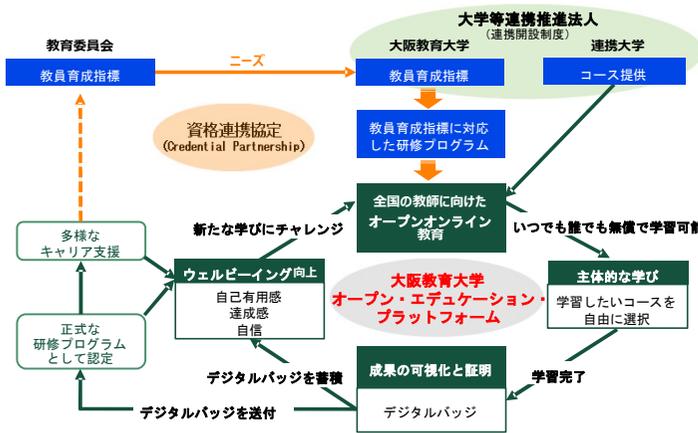
全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

大学間連携を通じた展開

連携開設制度の活用などによる、先導的・革新的な教員養成カリキュラムの展開

学び続ける教員を支えるプラットフォームの構築

- ✓ オープン・エデュケーション・プラットフォームの構築
- ✓ 連携大学、教育委員会、学校現場による相互コンテンツ提供
- ✓ チャットボット（AI）によるコンテンツ推奨機能
- ✓ デジタルバッジによる成果の可視化と証明



(1) 先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発

① 新・教員養成スタンダードの策定

新・スタンダードの項目に即したテーマ設定で教職科目体系を精緻化 + フレキシブルな改善システム

新・兵庫教育大学教員養成スタンダード

- ▶ e-ポートフォリオや資質・能力ごとの GPA による可視化システム

② 先導的・革新的な教職科目の開発

- テーマ1 学習者中心のデザイン、ファシリテーターとしての教師の役割、インクルーシブ教育
- テーマ2 EdTech、教育データの活用および STEAM 教育
- テーマ3 教師の連携・協働による教育体制の構築のための教育
- テーマ4 教職大学院共通5領域に加える新たな領域科目の開発とその汎用化

(2) 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学 コンソーシアム

- ▶ アジャイル型手法とリンクした社会的インパクト評価ツールの開発
- ▶ 全国ネットワークによる成果発信 (教員養成スタンダード・カリキュラム・FD)

(3) 取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

- ▶ 5年一貫による教員養成など教員養成の制度改革への貢献
- ▶ 教育大学(学部)における専門職養成機能の強化

学生

- ▶ 学習者観・学習観の転換
- ▶ インクルーシブ教育の理解
- ▶ EdTechが活用できる
- ▶ 教育データが活用できる
- ▶ 教員採用試験受験率の向上



新任教師

- ▶ 学習者中心の授業ができる
- ▶ インクルーシブ教育が実践できる
- ▶ EdTechが活用できる
- ▶ 教育データに関する実務ができる
- ▶ STEAM教育が実践できる



自律した学習者を育てる教師

- ▶ 児童・生徒の認知・非認知能力の向上を支援する教師
- ▶ カリキュラム・マネジメントを通して授業や学級経営を改善する教師
- ▶ 連携・協働の中核を担う教師
- ▶ フレキシブルに学び続ける教師



民間企業 13社

- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ 社会的インパクト評価ツール開発 など

Global Language Institute
Google intel LITALICO
MM総研 アワーズ キャリアリンク
錦城護謨 神戸新聞社
ダイボウ情報システム 東京書籍
本郷さくら総合法律事務所 リクルート
(※ アルファベット・五十音順)

教員研修機関 2機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発

教職員支援機構 兵庫県立教育研修所

社会教育施設 1施設

- ▶ STEAM教育

篠山チルドレンズミュージアム

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

国立大学法人 兵庫教育大学

先端教職課程カリキュラム開発センター (新設)

Center for Curriculum Redesign ※ 2022年度概算要求

- アジャイル型手法によるカリキュラム開発 ■
- 4部門で構成 (専任・兼任合わせ20人の教員を配置予定)
- ▶ 教育データサイエンス部門
- ▶ 先端教職科目開発部門
- ▶ 教職課程改善システム構築部門
- ▶ 教員養成ネットワーク構築部門

教員養成・研修高度化センター

2022年度以降は現職教員研修(採用・研修機能)に特化

大学 8大学

- ▶ めざす教師像
- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ 5年一貫教育

上越教育大学 滋賀大学
岡山大学 鳴門教育大学
放送大学 立命館大学
芸術文化観光専門職大学

教育委員会・学校 6機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ STEAM教育

兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会
堺市教育委員会 加西市教育委員会
南あわじ市教育委員会
兵庫県立豊岡高校

全国教育長・学校長協議会等 6団体

- ▶ 教職科目体系見直し など

全国都道府県教育長協議会
全国都市教育長協議会
全国町村教育長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会
全国高等学校長協会

令和4年2月2日

「教員養成フラッグシップ大学推進委員会」所見

- 文部科学省は、昨年8月6日（金）から11月12日（金）まで「教員養成フラッグシップ大学」を公募しました。本事業は、
 - （1）先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発
 - （2）全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開
 - （3）取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献の全てについて、優れた研究・人材育成拠点として全国的な教員養成の高度化に貢献できることが見込まれる大学を文部科学大臣が指定し、我が国の教員養成の在り方を変革していく牽引役となることを求めるものです。

- 中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会教員養成フラッグシップ大学推進委員会では、申請があった14件の構想のうち、事業の構想、学外との連携体制、学内の教育・研究基盤及び成果の全国展開の仕組みの構築等について審査を行い、特に優れた4件の申請を採択すべき構想として選定しました。

- 選定された各大学には、以下の点にも考慮したうえで、構想が着実に実施されることを期待します。
 - （1）自大学の課題解決のみならず、教員養成大学・学部以外における教員養成の高度化・機能強化に資する観点を含め、将来的に我が国の教員養成全体の課題解決につながるモデルとしての取組とすること。
 - （2）人的・物的・資金的リソースの提供等も含めた様々なステークホルダーとの連携・協働を介して、教員養成の課題解決を主導する取組とすること。
 - （3）5年先を見据えたガバナンス体制をしっかりと構築すること。
 - （4）他大学、研究機関、教育現場、教育行政関係機関、NPO、民間事業者等と緊密に連携するとともに、教員養成フラッグシップ大学間での連携・協働も積極的に検討・推進すること。

- 今回、残念ながら選定に至らなかった大学においては、申請いただいた構想に対する本委員会からの意見をお伝えしますので取組の参考にしていただくとともに、今後も地域や他大学等との連携のもと、各大学の特色を生かした先導的な教員養成に取り組んでいただくことを強く期待いたします。

教員養成フラッグシップ大学推進委員会